

2023年2月28日（作成）

3月17日（修正）

## 一般財団法人三重YMCA 2023年度事業計画書

【計画期間：2022年度～2024年度】

### §1 意義

一般財団法人三重YMCAは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長すること願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

#### 【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」  
(ルカによる福音書13章29節)

### §2 経営理念（ミッション・ステートメント）

三重YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

### §3 経営ビジョン

「人々が集い、弾ける笑顔にであう場となっている」

### §4 経営目標（2022～2024年度）

幼児・青少年が心身の健全な成長をはかれる活動を実践する

### §5 重点施策（2023年度）

- 1 YMCA 幼児園の園児数増加及び支出削減に取り組む。
  - (1) 園児数を増やすため、従来の手法に四日市市の支援を求める等、様々な方法に挑戦する。
  - (2) 固定費の削減（管理費の人件費、体育ホール家賃）に取り組む。特に体育ホールは、利用を取りやめ契約を解除するか、レンタル利用を図って収入を増加する等する。
- 2 情報発信を強める  
法人契約の携帯電話の活用、ホームページ、Facebook を活用し集客に努める。  
また、プログラムの目的を明確にし、参加意識を醸成する

### 3 退会者をゼロにする

魅力ある内容を提供できるよう、参加者のフォローを行う。

公の試験等を活用し、達成度を判定し、意欲付けを行う。

## § 6 2023年度の具体的計画

### 1 YMCA 幼児園、英語教室（幼児学童育成事業）

YMCA 幼児園は、年中・年長クラスの人数の減少に合わせ、クラス編成の統合等を行い、保育を実施する。英語・野外活動という特徴を発揮しつつ運営する。

認可外保育施設に「安全計画」の策定が義務付けられたため、完成を目指すとともに、現在の各安全関係のマニュアルを見直しし、整合を図る。

### 2 幼児・小学生体操教室（青少年育成事業）

幼児・小学生の体操教室を実施する。なお、講師確保のむつかしさから開校日を変更する。

### 3 ピアノ・クラフト教室（音楽等教室事業）

ピアノ・クラフト教室を開催する。

### 4 TOEIC会場運営の受託（語学検定受託事業）

一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会から、TOEIC公開テストの会場運営業務を受託する。今年度は、8回から9回に変更となる。

### 5 法人関係

財団法人設立40周年記念誌をまとめる。合わせ記念品の配布を行う。

また、ビジネス・チャンスを探り、具体化する。

## § 7 2023年度収支予算書（案）

資料1のとおり

以 上